

広島高速5号線シールドトンネル工事の進捗状況等について

1 要旨・目的

広島高速道路公社が事業を進めている広島高速5号線のシールドトンネル工事の進捗状況等について報告する。

2 現状・背景

広島高速5号線シールドトンネル工事については、平成30年9月に二葉の里側から掘削を開始し、昨年10月から牛田地区の住宅地区間を掘進しているところであり、地表面沈下の抑制などの対策を取りながら慎重に工事を進めている。

3 概要

(1) 対象者

—

(2) 事業内容（実施内容）

ア シールドトンネル工事の事業内容

(ア) 牛田地区住宅地区間における進捗状況

今月11日時点において、シールドトンネル工事の延長約1400mのうち、二葉の里側から約750m地点（住宅地区間約350mのうち約107m地点）まで到達し、住宅地区間で4回目の臨時点検を行っており、併せて住宅地区間で計画している3回のカッター交換のうち2回目を実施している。

(イ) シールドトンネル工事の契約変更

安全に工事を進めるための対策費用や、工事に時間を要していることに伴う現場管理費等が必要となっており、これらの費用負担について現在の契約工期末である7月12日までに、公社は受注者と契約変更の締結に向け協議を進めていく。

イ 広島高速道路公社運営会議の開催結果

公社事業の適正かつ能率的な推進を図るため、広島高速道路公社運営会議を3月23日に開催し、高速5号線の整備状況、公社改革の取組状況等について意見交換を行った。

(ア) 広島高速道路公社運営会議委員

広島県知事 ※会長	湯崎英彦
広島市長	松井一實
国土交通省中国地方整備局長	多田 智
広島商工会議所会頭	池田晃治
広島高速道路公社理事長	熊谷 鋭

(イ) 委員からの主な意見

- ・高速5号線をはじめ、高速4号線の山陽自動車道への延伸等、道路ネットワークの強化に向けて広島高速道路の整備をしっかりと進めてもらいたい。
- ・高速5号線については、工事が遅れており、これによって供用開始の遅れや追加の費用が生じることは望ましいことではないが、住民の安全・安心を第一に進めてもらいたい。
- ・公社改革については、再発防止の取組に加えて、強靱な組織力の構築に向けた取組が進んでいることが理解できた。

(3) スケジュール

—

(4) 予算（単県）

令和4年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 1,850百万円

(5) 今後の対応

引き続き、事業主体である公社や広島市と連携し、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう、適切かつ丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。